

志木ロータリークラブ



2019-20年度 国際ロータリー 会長 マーク・ダニエル・マローニー 「ロータリーは世界をつなぐ」
 2019-20年度 第2570地区 ガバナー 鈴木秀憲 「つなげる:未来へつなぐ」「変化:変える(基本に戻る)」
 2019-20年度 志木ロータリークラブ 会長 上原実 「誰がために」

第2298回 例会

2019-10-2

- ◎司会 清水 和之 副会長
- ◎点鐘 上原 実 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 吉原 正 会員
- ◎四つのテスト 吉原 正 会員
- ◎ゲスト マティス・ヴァンペウエナージェ君
(青少年交換学生)

「会長挨拶」

会長 上原 実



今月は経済と地域社会の発展月間です。折しも消費税が10%となりました。軽減税率とか何か訳のわからないような報道もされています。皆様方には準備万端でしょうが、小売業の方などは、とまどいや混乱している店舗もあるようです。

消費税が導入されたのは平成元年で税率3%でした。その後平成9年に5%になり、平成26年には8%になりました。最初は平等なので良い税制なのかなと思っていましたが、税率が上がる度に消費の落ち込みや、景気の後退が感じられました。また平成13年以後過度と思われる規制緩和による経済の失速が続いてきたと思っています。

ちなみに租税滞納が最多だったのが平成4年2,220億、消費税滞納最多が平成10年で総額1,890億の内800億円。昨年租税滞納665億の内、消費税が393億と59%を占めたようです。

「新会員入会式」

会長 上原 実



大村相基会員

消費税を上げずに税収が伸びる施策はないのでしょうか。個人的には小規模零細事業所が元気で活力ある状況になれば関わる人々の個人消費も増えて地域経済の向上発展にもつながっていくのかと思っています。

「幹事報告」

幹事 三上隆俊



1. RI 日本事務局より 10 月のロータリーレポート受信

1 ドル=108 円 (参考 9 月=106 円)

2. 地区事務所より 6 件受信

①2020 年ロータリー国際大会本会議及び地区ガバナーズナイトの案内

国際大会本会議

日時：2020 年 6 月 7 日(日)

場所：ハワイコンベンションセンター

地区ガバナーズナイト

日時：2020 年 6 月 7 日(日) 18:00～

場所：アウトリガリーフワイキキビー

チリゾートホテル ダイアモンド

ヘッドテラス(バンケットルーム)

②ロータリーカード(クラブカード)活用の願い

③学友会ニュース：小谷野翔太さん分

④比国育英会バギオ基金第 41 回バギオ訪問交流の旅募集要項

⑤2019 年度米山記念奨学部門第 2 回カウンセラー会議の案内

日時：12 月 8 日(日) 開会 15:00

場所：川越東武ホテル(049-225-0111)

⑥2019 年度米山記念奨学部門クリスマス

会の案内

日時：12 月 8 日(日) 17:00～19:00(予定)

場所：川越東武ホテル(049-225-0111)

3. 新座こぶしロータリークラブより第 1 回会長・幹事会収支報告書及び朝霞ロータリークラブ第 2 回会長・幹事会収支報告書受信

「PHF 伝達式」

会長 上原 実



○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

飯田富夫会員

○ポール・ハリス・フェロー

遠藤貴博会員

「お小遣い授与」

会長 上原 実



青少年交換学生マティス・ヴァンペウエナー・ジェ君に上原会長より、今月分のお小遣い授与

「今月の誕生日祝」 親睦活動 委員 西浦建貴

4 日 荻野光一会員 8 日 吉田靖夫会員

11 日 島田直人会員 14 日 山口幸男会員

19 日 星野博之会員 19 日 高橋健一郎会員

26 日 飯田富夫会員



誕生日会員と皆さんの健康を祝して乾杯！

「卓 話 ①」

「第2570地区

RLI委員会活動について」

地区研修委員会 委員 大野栄治



RLI ロータリー・リーダーシップ研究会

RLI は 1992 年アメリカ・ニュージャージー州第 7510 地区において元 RI 理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織であります。

日本では 2008 年 6 月元 RI 理事南園義一日本支部委員長の下でスタートしております。RLI 日本支部はその目的を RLI の理念に従ってリーダーシップの研修を願い、一人ひとりのロータリーへの理解とモチベーションを高

め、リーダーシップを涵養することとしております。

第 2570 地区では西川ガバナー年度に RLI 日本支部に加盟致しました。以来、地区研修として RLI セミナーを 2012 年度より開催いたし、今日に至っております。私もこの年度より地区の RLI セミナー運営に携わらせていただいております。

RLI セミナーのカリキュラムはパート I ～ III までと卒後コースに分かれておまして、それぞれのパートでは AM9:00～PM5:00 迄 6 セッションに分かれての研修となっております。

今年度も 9 月 28 日にパート I が終わり、今後 11 月 23 日、1 月 19 日に開催と決定して準備中です。

興味のある人は是非参加してみてください。

「卓 話 ②」

「ライラ委員として」

地区青少年奉仕委員会

ライラ小委員会 委員 國分 学



今日の卓話のために年度計画を確認しましたら、早いもので 12 年も在籍しておりました。

ライラは入会 5 年目の 2012 年度、坂本 PG が青少年奉仕部門委員の時にライラ委員となりました。2 年前からアクト委員とクロスプロモーションとして行い、学生 100 名ロータリアン 50 名とたくさんの参加になりました。

今年度は SDGs をテーマにロータリアンもディスカッションに参加して『世界を変える

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■朝霞RC (火) 12:30～13:30 埼玉りそな銀行朝霞支店
■新座こぶしRC (水) 12:30～13:30 ベルセゾン

事務局 048-466-3770
事務局 048-424-8178

2298-3◇
志木 RC 会報

ための 17 の目標』について勉強したいと思います。

地区役員のメリットはクラブ以外にも更に仲間が増えること。仲間が多いことは、いいことですネ！

「卓 話 ③」

「奨学学友・平和フェロー小委員会」

地区ロータリー財団委員会

奨学学友・平和フェロー小委員会 委員 宮原俊介



私は、現在ロータリー財団委員会の奨学学友・平和フェロー小委員会で地区役員として活動しております。ロータリー財団の奨学金というと横文字が多くて分かりづらい。どのように利用されているのか分からない方もいらっしゃると思います。

そこで、今回は、本小委員会とロータリーの奨学金制度、そして留学の実情について、ご説明させていただきます。

■奨学学友・平和フェロー小委員会の活動について

ロータリー財団奨学金（以下；R 財団奨学金）は、フルブライト奨学金と並ぶ世界的にも知名度の高い奨学金制度です。そのため一種のブランドとして、奨学生は留学先で非常に高い信用を得ることができ、自身のキャリアとして反映することが出来ます。この制度を通じて、活躍する人物としては、日本人初の国連難民高等弁務官である緒方貞子、国際宇宙ステーションの組み立てミッションに参加した宇宙飛行士の山崎直子などが有名です。

しかし、この制度は、会員皆様の寄付によって成り立っていますので、受給者にはロータリーの奨学生としての責任と自覚が求められます。特に当地区で奨学生は、地区と留学先のロータリーを繋ぐ親善大使として、また、埼玉県からも国際親善大使として委任を受けておりますので、給付対象者として相応しい人物か見極めることが、ロータリーでは必要となります。そこで小委員会は、応募者の選考過程から、R 財団奨学生として相応しい人物か研修を通じて、精査し、判断する活動をしています。

■奨学金の種類について

R 財団奨学金は、下記の 3 つの給付タイプに分かれます。なお、全て返済不要の奨学金になりますが、給付を受けるには、R 財団委員会による選考に通過しなければなりません。

①地区補助金奨学金

地区補助金を利用した奨学金で専攻の指定がない奨学金です。1年間で 22,000 ドル（約 235 万円）が支給されます。現在、当地区では 2 名が候補生として選考を通過しています。

②グローバル補助金奨学金

紛争解決や衛生、教育など、平和貢献に関する研究を専攻する者に給付されます。

30,000 ドル（約 320 万円）現在、当地区では 1 名が候補生として選考を通過しています。

③平和フェローシップ

国際ロータリーでは 2002 年にロータリー平和センターという国際関係、持続的な開発、平和研究、紛争解決の分野のスペシャリストを育成するという制度を設置し、関連研究を専門とする世界の 7 大学と提携しています。

アメリカ：デューク大学

アメリカ：ノースカロライナ大学

イギリス：ブラッドフォード大学

スウェーデン：ウプサラ大学

オーストラリア：クイーンズランド大学

タイ：チュラロンコーン大学

日本：国際基督教大学（ICU）

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

◇2298-4
志木 RC 会報

■新座RC (木) 12:30~13:30 ベルセゾン
■富士見RC (金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041
事務局 049-251-6596

この平和フェローシップは、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用まで奨学金として授与されます。しかし、世界中の申請者の中から100名しか選ばれない非常にハードルの高い奨学金制度であり、過去に当地区で選考を通過したのは2名のみです。本年度は1名の平和フェローシップ応募者がブラッドフォード大学で専攻中となっております。

■留学の実情

平和フェローシップを除いたR財団奨学金の給付額を見ると高額のように思えますが、アメリカの大学院留学で必要になる費用は、生活費を含めて1年間で900万円以上かかります。もちろん学位を取得する為には最低でも2年以上の研究が必要になりますので、R財団奨学金は留学費用の1割であることが現実です。そのため奨学生は留学先で苦しい学習環境の中で生活していることが報告されています。また、当地区は奨学金の支給額が減ってきており、国際貢献を志す優秀な人材を支援する学習環境の提供が、今後さらに難しくなるのではと個人的に危惧しております。

結びにロータリー財団が皆様の温かいご支援によって、国際社会で活躍する日本人を一人でも多く誕生させることができますようご協力をお願い申し上げます。

●出席報告 出席向上委員 内田栄信

会員数48名 出席義務者40名 免除者8名

本日出席	本日欠席	本日出席率
40名	5名	88. 89%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(6名中3名)	93. 02%	96. 02%